



PTA活動に思うこと

PTA会長

日頃よりPTA活動に深いご理解と温かいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

特別支援学校におけるPTA活動は、子どもたちの学びと安心できる生活環境を支える大切な取り組みであると考えております。

本校のPTAでは、その名称が示すとおり、保護者（Parents）と教職員（Teachers）とが互いに「つながり」、支え合う関係を築いていると日々感じています。

近年、社会情勢の変化に伴い、PTA活動のあり方も多様化しており、ご負担を感じられる場面もあるかと存じます。

そこで、昨年度は森前会長のもとで進められたペーパーレス化をはじめ、オンライン会議の活用なども図り、皆様が参加しやすい環境づくりと負担の軽減に努めてまいりました。

このような効率化を図りながらも、PTA活動を通じて得られる「つながり」は、これからも大切にしていきたいと考えております。

本年度のPTA活動におきましても、子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう、積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

入学して思うこと

高1 保護者

入学から一か月が過ぎ、最初は違和感のあった新しい制服姿もいつの間にかすっかり馴染んでいます。

息子は、いつもとは違うことが起こったり、失敗したりすると、それが小さなことでも強い不安を感じる人が多いのですが、新しい学校生活や心配していたバス通学にも慣れ、毎日楽しく通学しています。

送迎や行事などで学校に行くと、教職員の方々や保護者の方々がいつもにこやかに挨拶してくださり、学校のあたたかい雰囲気が伝わってきます。そして、先生方が子どもたち一人ひとりに寄り添いながら指導してくださっている様子や、子どもたちがのびのびと過ごし、一生懸命課題に取り組む姿を見ていると、恵まれた環境で学ばせてもらっていることを改めて実感します。

高等部の三年間はあっという間だと思いますが、失敗を恐れずいろいろなことに挑戦し、自分が夢中になれることや得意なことを見つけていってほしいと思います。そして何より学校生活を楽しみ、良い思い出をたくさん作ってほしいと思います。